

## 第538回 放送番組審議会

1. 日 時 2018年2月20日(火) 午後1時30分～
2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室
3. 委員総数 9名

### 出席委員 6名

委員 長	五日市 知香
副委員 長	三浦 茂樹
委員	大橋 綾子
委員	佐藤 俊彰
委員	佐藤 健志
委員	加藤 千晶

### 欠席委員 3名

委員	恒川 かおり
委員	照井 勝也
委員	大内 敦

### 社側出席者

檜崎 憲二	(代表取締役会長)
榎野 信治	(代表取締役社長)
山口 英二	(専務取締役)
青山 尚之	(常務取締役 兼 編成局長)
池田 学	(営業局長)
柴柳 二郎	(報道制作局長)
藤村 恵一	(報道制作局アナウンス部長)

事務局	遠藤 隆 (編成局放送番組審議会事務局長)
	平山 亜希子 (編成局編成部副部長)

### 4. 議 題

1. 1/8 (月・祝) 10:25～10:55 球界No. 1左腕へ!～菊池雄星～
2. その他

## 5. 資 料（資料として以下のものを配布）

- ・ 視聴者からのご意見

## 6. 意 見

### ○委員側意見

○西武に入団してからも応援して注目していたが、活躍できなかった時間が長く活躍するまでに7年、8年経っていたんだと思うと、番組を見終わった後に感慨深い気持ちになった。自分自身の悩み苦しみを素直に率直な言葉で話している事が、藤村アナウンサーとの関係や地元の局ならではの番組だった。

○「岩手への恩返し」、「逆に勇気もらっている。」という言動に菊池選手の岩手への感謝の気持ちとか、愛着が伝わってくる番組。

○何で8年目にこれだけ大きく成長して良い成績を残せたか、本人の言葉としてちゃんと引き出していてよかった。

○対戦相手である楽天の銀次選手のインタビューが入っていてよかった。評論家としてのコメントではなくて、実際に対戦しているバッターだからこそ言える、外の制球力が良くなったとか、そういう話は対戦しているバッターだからこそその発言で良いコメントだった。

○全体に淡泊な印象を受けた。シーズン中密着した様子が一日でもあると、舞台裏みたいなものが少しあると良かったかなと思った。二段モーションのところは、もう少し説明が欲しかった。

○高校野球で大活躍した選手がドラフト1位で入団しても、プロではそのまま活躍できる人はほんの一握りで、その中で時間をかけて不撓不屈の精神で這い上がってきた感じがする菊池選手が、どうやってそんな風になれたんだろうというそのところに興味を持って拝見した。野球の素人にも分かりやすく作っていたと思う。

○昨シーズンの活躍の背景には結婚、奥さんの力があったのだろうと思う。できれば番組に奥さんを出していたらどうかな思った。機会があったらどんな奥さんなのか、家庭ではどんな感じなのかを聞いてみたいと思った。

○プロ野球ニュース的なものではなくて専門家ではない一般の見ている方に視線を合わせたような作りになっていて、それが楽しい番組になった要因と思う。

### 局側意見

○雄星のインタビューを聞き “人間・菊池雄星”としての姿を表現したほうがいいのではないかと思い、編集にあたって軌道修正をかけ、スポーツ番組ではなくドキュメンタリー的な意味合いの番組として制作した。

○シーズン中の裏舞台の映像が逆に夕方の「ニュースプラス1」の中では前半戦が終わった時に、また所沢に行きまして、夕方のニュースの中でお伝えしました。それも入れ込むことも考えたが、番組の流れを遮断しそうだなと思い、組み込まなかった。

○「誰でも何かしら仕事だったり生活で苦しんでいるから、苦しむんだったら自分の楽しいと思う事で苦しんでほしい。そうじゃないと続かない。人それぞれのペースがあっていいじゃないか」。こういった言葉は、菊池雄星投手から岩手の子ども達、そして大人でも何かで苦しんでいるみなさんへ向けてのメッセージなんじゃないかと感じました。苦勞した人間だからこそその説得力、重みというのを大変感じたので、それを番組の大きな軸にしようと思って作った。

2月番組審議会（今回）のテレビ放送  
2月27日（火）11:45-11:52「あなたと歩むテレビ岩手」